

WHO ファクトシート

自殺

Suicide

2017年3月

重要な事実

- ・毎年 80 万人近くの人々が自殺により死亡している。
- ・実際に自殺した人よりも多くの人々が毎年自殺を試みている。一般的に自殺を試みた前歴は、実際の自殺へと至る一番リスクの高い要因である。
- ・15～29 歳の年齢層において、自殺は 2 番目に多い死亡原因である。
- ・世界中の自殺の 75%は、低・中所得国で起こっている。
- ・殺虫剤摂取、首つり、銃器による自殺が、世界的に最も一般的な方法となっている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Suicide ファクトシート原文は [こちら](#)